



第46期 クラブスローガン

奉仕で結ぼう 友愛の絆



第46期第一回目の街頭献血運動 ながの東急百貨店前にて



第3回 フードドライブ 若里公園にて

長野中央ライオンズクラブ

URL <http://nagano-chuo-lions.logos.jp>

例会ニュース

◆ 8月第二例会 『ガバナー公式訪問』 8月27日（金）



ガバナー公式訪問が長野みすずLCのホストによりホテル国際21において開催されました。

◆ 9月第1例会

沈みゆく夕日の輝く海原で

（上越中央LC・長野中央LC合同例会報告）

9月9日（木） 友好親善委員会 L.鹿熊 彰

「柿崎海岸の夕陽の映えるホテルで例会を設営したそうだ。天気の良いければいいけど」こんな期待を話しながら総勢22人、大型バスを仕立てて9月9日長野国際21を15時30分に出発した。途中妙高PAでは厚い雲に覆われた空を見上げ「残念だけれど海に沈む夕陽は無理だなー」少々落胆をしながらおよそ1時間、柿崎海岸の「柿崎ホテルハマナス」へ到着、打って変わって水平線まで雲一つない快晴である。入り口でオレンジ色に染まりはじめた夕陽と上越中央LCの方々の出迎えを受け、早速ロビーで変わりゆく落日の情景に見とれる。

「長野中央の方々…例会場の方が夕陽がよく見えるから」と度々の催促にしぶしぶ2階の会場へ、上越の方々の心遣いで海に向かって開放された西側の席を長野中央に、まさに絶景である。

例会は上越中央LC長澤会長の歓迎のあいさつに始まり、長野中央LC渡辺会長のお礼のあいさつ、そして幹事報告と予定通りの時間で進められましたが、例会の始まる頃より傾き始めた太陽が海面をキラキラと輝かせて沈んでいく情景に、会員全員が目も離せず「耳は演台に心と顔は海原に向けたまま」例会の終了と同時に没した日没の大スペクタクルを観賞、そして茜色に染まった残照を心残りに懇親会場へと移動した。

懇親会はお決まりの特別会員（ももちゃんといみちゃん）の歓迎を受け開会、素晴らしい海浜料理と越後の特選のお酒そして名古屋松山にも匹敵する会員総出のおもてなしで、過ぎし日の交流の数々に思いを馳せ、旧交を温めながらの談笑に時の立つのも忘れて和気あいあいのうちに終了致しました。

帰路のバスでは第三副会長の村上ライオンが突如テールツイスター役として懇親会の会員個々の状態を思い出しながら、おもしろおかしくドネーションを要請、そして素晴らしい思い出の一夜を共有した全員が笑顔で抛出？しながら無事長野に到着しました。

最後にこの素晴らしい情景の合同例会を企画され、なごやかな饗宴を準備運営された上越LCの方々のご苦勞に、心より感謝を申し上げ報告と致します。



◆10月第一例会 『環境美化例会』

10月16日（土）

計画財務委員長 L.竹内 邦雄

昭和60年7月26日発生した地附山地滑りから25年。すっかり環境整備が終わった地附山公園で環境美化例会を行いました。この公園には多くの市民からの植樹寄付の他に9年前LC・3Zの記念事業で桜苗木植樹や昨年は当クラブから案内板5基を寄贈しています。

参加人数が心配されましたが、当日は土曜日の午前中に設定したこともあり、LLや家族合わせて35名の参加



となりました。公園一帯は、ボランティアが毎週清掃しているとの事でゴミ1つなく大変きれいでした。各自周辺散策し最後に例会を行って、お茶弁当を頂き解散。昼食を食べながら親睦も深められました。

ゴミの成果はゼロでしたが、好天に恵まれ、遠く志賀高原から浅間まで一望出来、新鮮な空気を深呼吸して大変気持ちの良いひとときを過ごしました。私は地滑り当時の避難経験があるので、長い年月をかけてこんな素晴らしい公園に生まれ変わり、感慨もひとしお。今度はトレッキングコースと、きのご狩りに挑戦したいと思っています。

◆10月第二例会 『篠ノ井LC合同親睦例会』

10月28日（木）

友好親善・接待大会、会員厚子委員長 L.小口 範夫

10月の第2例会は、長野篠ノ井LCとの合同例会として10月28日（木）、ホテル国際21において篠ノ井LC20名、長野中央LC50名の参加で盛大に開催されました。例会では篠ノ井LC会長L.平山和成の開会のゴングで始まり、昨年の長野中央LC45周年記念式典の成功裡に終わったことについての感謝のあいさつがありました。渡辺会長からは334-E地区第一副地区ガバナーL.宮下満栄に激励のあいさつがあり、引きつづき幹事報告とこれからの予定の報告がありました。

合同懇親会はL.矢沢廣子の司会、開宴のあいさつを第3副会長L.村上義徳が行い、L.日置二郎の奥様、日置雅子様（バイオリン）、山田鈴子様（ピアノ）のすばらしいバイオリンミニコンサートで始まりました。祝宴は和やかな雰囲気、会員間懇親を深めることが出来ました。さらにL.海野正信の「また会う日まで」の合唱で皆さんが手をつなぎ一つの輪になって歌い、時の過ぎるのを忘れ、楽しい宴会になりました。

新入会員のご紹介

L.金守 秀夫

昭和44年1月31日生

スポンサー L.原田 浩道

勤務先 (有)金島産業

自宅

長野市稲里中氷鉦929-1

所属委員会

PR・情報・記録保存・

会報・IT委員会





「クラブ内会員セミナー」



指導力育成・会則付則委員長 L.岡田 典雄

私ども指導力育成、会則付則委員会では渡辺会長の方針であり、上野前期委員長からの引継事項でもあるクラブ内会員セミナーに力を入れてほしいという要望を受けて、7月27日に委員長セミナーを実施し、10月25日には2008年～2010年の入会者を対象としたセミナーを実施、そして次回には2004年～2007年の入会者を対象にしてセミナーを計画したい。

第一回目 委員長セミナーの概略

講師 L.上田 正昭

始めに、長野中央ライオンズクラブの沿革、ライオンズ名称の由来について説明があった。そしてクラブ活動を成功させるためには、地域社会が求めているアクティビティは何かを的確に掴み、地域住民に溶け込むことが大切であり、地域にPRする必要性と、自クラブ以外のライオンズ組織への参加等について解説あり。

講師 L.鹿熊 彰

クラブの運用ルール、手続き、委員会・理事会・例会の承認と特に予算については必ず理事会の承認などの解説あり。

第二回目 会員セミナーの概略

(2008年～2010年入会者)

講師 L.宮下 勇

ライオンズクラブの組織・国際協会・日本協会・複合地区・地区・リジョン・ゾーンの体系・クラブ役員の選出と運用ルール説明。

最も大切なことはクラブ会員に上下はない、新しい仲間が大勢つくれるチャンス。また例会や委員会だけでなくクラブにはいろいろなサークルがある。積極的に参加し一日も早く打ち解けてライオンズクラブを楽しんでほしいという話であった。

第三回目 会員セミナー計画中

ライオンズクラブは世界で一番大きい組織の奉仕団体である。ライオンズクラブがある国は200ヶ国を越え、世界のクラブ数は約46,000で世界の会員数1,338,000人。日本の会員数は約107,000人となっている。

このメンバーが世界共通の会則をもって、多岐にわたる活動をしている。ライオンズクラブは奉仕活動だけでなく、素晴らしいメンバーとの出会いの場でもある。どうぞクラブを楽しみましょう。

終りにライオン誌11月号「クローズアップ」のコーナーで茨城県土浦亀城ライオンズクラブのL.古梶 剛士が紹介されている。古梶ライオンは1972年生まれ、2004年1月ライオンズクラブ入会（31才）、2006年幹事（入会2年半）、2010年会長（入会6年半37才）を勤めている。このように入会歴の浅い会員がクラブの役職についていただけるようにすることもセミナーの大きな目的である。

アクティビティ・レポート

「街頭献血運動で、命を救う献血を待っています」

9月20日（月・祭）

視聴覚障がい者福祉・四献推進委員長 L.海野 正信

今期の第1回目の街頭献血運動を東急百貨店及び長野駅前付近で行いました。この献血運動は月に一度の献血推進サードデーと共に、ライオンズクラブの根幹的なアクティビティであります。赤十字血液センターに協力して、今回も会員25名の参加協力をいただきながら、お願いのティッシュやちらしなどを合計2400枚程度配布しました。

成果は、受付者は86名、その内献血者は56名でした。献血車に入るまでの待ち合いの椅子に行列が並ぶほどの集まり方でした。もう一台献血車があればの思いもありながら、最近は献血車は減少傾向と聞く中で、一時間近くもお待ちいただいた皆様の熱い想いに胸が打たれました。

できることはささやかですが、全国的に、世界的に大きな献血の輪が広がることを期し、献血を願う人々と当クラブ精神の発展向上のために、委員会始め、会員皆様の絶大なるご協力をこれからもよろしくお願い致します。「共に、人間を救い、世界を救いましょう」



フードドライブ 10月3日（日）

市民奉仕・環境保全委員長 L.返町 とも子

秋空に恵まれた10月3日、若里公園一帯で開催された第29回ふれあいまつりで、長野中央ライオンズクラブフードドライブが行われました。

ディスカバリーストリートと称される公園東側の散策路面に、前日から準備されたフードドライブの横断幕がひと際目立ち、人足を止めてくれます。会員の皆様からドライブされた食糧が見事に山積みされ、ガールスカウト市内団のお手伝いの姿と大きな声で「フードドライブに御協力下さい」とお呼びかけする声で大勢の方が足を止めて下さいました。今までの活動の写真を大きくラミネートし、説明の基点とし、長野中央ライオンズクラブ発信のフードドライブの主意と、来年のふれあいまつりにドライビングフードをお持ち下さる約束が多くの方々とかわされました。

ディスカバリーストリート（発見通り）の名が、食育につながる温い心のフードドライブ活動の大発見として感動していただいた意義ある一日でした。御協力下さいました委員の皆様、ライオンの皆様に重ねて感謝申し上げます。



ごみゼロ運動 10月17日（日）

10月17日（日）恒例の秋のごみゼロ運動が実施されました。14名のライオンに参加して頂き、秋晴れの下、気持ちのよい汗を流しました。

大きなゴミは年々少なくなってきましたが、やはりタバコの吸い殻が目立ったようでした。

ドネーション・アラカルト

■ 8月11日 (第一例会)

L. 上田 正昭	
誕生お祝い有難う	2,000円
L. 上野 仁	
ゾーンチェアパーソン就任いたしました。1年間よろしくお願ひします。	10,000円
L. 小林 博	
誕生祝	2,000円
L. 齋藤 栄嗣	
ゴルフITCコンペ、また優勝同時開催ホンダカーズ準優勝でした	10,000円
L. 関谷 登	
誕生祝有難うございます。	2,000円
L. 高波 文武	
8月2日で66歳になりました。	2,000円
L. 竹内 邦雄	
会社創立30年迎えました。今年の長野市景観賞受賞しました。	10,000円
L. 林 時男	
誕生日	2,000円
L. 原田 浩道	
誕生祝有難うございます	2,000円
L. 和田 正彦	
花ボケー様のステキなお花ありがとうございました。	2,000円
合計	44,000円

■ 9月9日 (第一例会)

L. 岡田 典雄	1,000円
L. 小口 範夫	3,000円
L. 小野 常三	3,000円
L. 鹿熊 彰	2,000円
L. 倉野 立人	5,000円
L. 小林 昭夫	10,000円
L. 小林 一彦	1,000円
L. 坂原 宏	2,000円
L. 渋谷 一男	10,000円
L. 返町 とも子	2,000円
L. 野田 正廣	1,000円
L. 野本 勉	1,000円
L. 原田 浩道	2,000円
L. 三上 浩史	1,000円
L. 宮下 勇	2,000円
L. 村上 義徳	5,000円
L. 矢澤 廣子	2,000円
L. 渡辺 昌祺	4,000円
上越中央LC合同例会 親睦を深	

めました	
合計	57,000円

■ 9月24日 (第二例会)

L. 上田 正昭	
日本経済新聞に会社記事掲載されました。	5,000円
L. 北村 健一	
8月26日整体院 悠友開店致しました。	10,000円
L. 坂原 宏	
米寿 誕生祝有難うございます	5,000円
L. 日置 二郎	
誕生祝有難うございます	2,000円
L. 三上 浩史	
誕生祝有難うございます	2,000円
L. 渡辺 昌祺	
誕生祝有難うございます	3,000円
合計	27,000円

■ 10月28日 (第二例会)

合同親睦 篠ノ井ライオン 国際21	
L. 大日方 英一	
誕生お祝い有難う	2,000円
L. 小林 一彦	
大久保西の茶屋自家農園そば畑信濃毎日新聞掲載された。	5,000円
L. 齋藤 栄嗣	
誕生お祝い有難う	2,000円
L. 渋谷 一男	
10月7日仙台中央LC CNゴルフコンペ優勝 (10,000円)	
10月9日妙高高原GCホールインワン (10,000円)	
	20,000円
L. 返町 とも子	
フードドライブ ご協力有難うございました。	10,000円
L. 藤森 義昭	
誕生お祝い有難う (2,000円)	
2011年10月世界大会 IN LONDON 印刷技能 オリピック出場記念 (10,000円)	
	12,000円
L. 村上 義徳	
誕生お祝い有難う	2,000円
L. 渡辺 久雄	
奥様の告別式の御礼	10,000円
合計	63,000円

編集後記

いったい、いつ頃から時が過ぎるのをこんなに早く感じるようになったのでしょうか…?

今年もあと僅か一ヶ月を残すだけとなりました。先日、私事ではありますが、ある公立の中学校からご依頼を受けまして(何故に私に???), 中学1年生に「職業」(私の場合、お菓子屋ですね)について講演することになりました。今時の中一の子達に何を話せばよいのか…迷いましたが。夢ってなに? 仕事ってなんですか? 私なりに全力で生徒達に伝えたいつもりではおりました。後日、話を聴いてくれた生徒さん40数名全員から御礼の感想文をいただきました。中には「私は先生(僕の事!)の話を聴いて、将来お菓子屋さんになりたいと思いました!」などと書いてくれた生徒さんがいたり、「お話を聴いて、仕事って、人の役に立つことをすることなんだと解りました。」なんて書いてくれているのです。

なんだか、こちらの方が元氣付けられたような、嬉しい気持ちにさせてもらいました。子供たちの素直そうな瞳が想いだされます。私達もあの頃は、もっとゆっくりとした時の流れの中に身を置き、柔らかな感性で、おおらかに、よく遊び、よく学び(?) 毎日を過ごしていたのでしょねえ。年末にかけて更にせわしい時期を向えますが、少しここで、一息ついて、残りの2010年を乗り切りたいと考えております。ライオンの皆様も季節柄、ご自愛ください!

編集委員 L. 清水 基弘

〔会報第271号〕

2010年11月25日

長野中央ライオンズクラブ

PR・会報委員長

L. 三上 浩史

長野市妻科426-1

長野県建築士会館 6階

☎ 026 (235) 3988

<http://nagano-chuo-lions.logos.jp>